

前フェーズ「地盤情報データベースを用いた表層地質が地震動特性に及ぼす影響に関する研究委員会」におけるオーガナイズドセッション・ワークショップ開催状況

1. 日本地震工学会年次大会オーガナイズドセッション

(1) 2011 年「東北地方太平洋沖地震による強震動－地盤構造が地震動に及ぼす影響－」

- ・東北地方太平洋沖地震の連続記録に見られる東京上野でのやや長周期地震動：南雲秀樹ほか
- ・東京湾岸域の広帯域地震計による東北地方太平洋沖地震の記録：植竹富一
- ・経験式に基づく 2011 年東北地方太平洋沖地震の長周期地震動シミュレーション：佐藤智美ほか
- ・東京都八王子周辺で現れる周期 2 秒弱の強震動：年縄巧
- ・東北地方太平洋沖地震 (Mw9.0) の余震観測記録と連続微動観測記録による茨城県中部に於ける地下速度構造の不均質性評価：津野靖士ほか
- ・千葉県における地震被害予測システムの活用：大井昌弘ほか
- ・2011 年東北地方太平洋沖地震時の強震記録に基づく地盤の非線形応答特性：野口科子ほか
- ・東北地方太平洋沖地震時の東京の揺れと電子地盤図を用いた解析：安田進ほか
- ・東北地方太平洋沖地震・本震時における K-NET 地点のサイトファクターの変化：池浦友則
- ・アレー微動及びサイト特性を用いた K-NET 築館の表層地盤の推定：早川崇ほか
- ・K-NET 築館周辺での東北地方太平洋沖地震の臨時余震観測：松島信一ほか
- ・余震および微動観測に基づく K-NET 築館観測点周辺の地盤増幅特性の空間変動：山中浩明ほか

(2) 東北地方太平洋沖地震および想定される巨大地震による強震動と地盤増幅特性の評価

- ・疑似点震源モデルを用いた内陸地殻内地震による強震波形の評価－2000 年鳥取県西部地震への適用例－：秦吉弥・野津厚
- ・東北地方太平洋沖地震を対象とした震源モデルの検証：野津厚・若井淳
- ・プレート境界地震の応力降下量の深さ依存性の検討：中村亮一
- ・疑似点震源モデルを用いた内陸地殻内地震による強震波形の評価－2007 年新潟県中越沖地震への適用例－：秦吉弥ほか
- ・2011 年東北地方太平洋沖地震による基盤地震動の距離減衰特性：池浦友則ほか
- ・首都圏における長周期地震動のサイト特性の震源位置による差異：津野靖士ほか
- ・立川断層帯周辺における 2011 年東北地方太平洋沖地震の長周期地震動特性：佐口浩一郎ほか
- ・東北地方太平洋沖地震による常陸那珂港湾埋立地の地盤応答：植竹富一
- ・仙台・折立団地およびその周辺の既存強震観測点における地盤震動特性の評価：秦吉弥ほか
- ・東北地方太平洋沖地震の岩瀬観測点 (IBRH11) での大振幅の要因の分析：佐藤智美ほか
- ・余震および微動観測に基づく K-NET 築館観測点周辺の地盤増幅特性の空間変動その 2. 極近傍での高密度微動観測：山中浩明ほか

(3) 2013 年「強震動予測のための地盤構造評価法」

- ・火山周辺の不均質な減衰構造を考慮したスペクトルインバージョン解析：友澤裕介ほか

- ・地震動と微動の水平上下比に関する拡散波動場理論に基づく理論界の適用性：川瀬博ほか
- ・微動H/Vスペクトル比の方位依存性と盆地端部形状の関係：松島信一ほか
- ・Small-Titan CCHG で観測された強震動の成因解明のためのS波速度構造の推定：田中浩平ほか
- ・十勝平野の地盤構造モデルの評価：南雲秀樹ほか
- ・名古屋市における周期数秒の地震動の増幅特性の震源域による相違：早川崇ほか
- ・地中地震記録を利用した早期地震動予測のための関東平野のサイト増幅特性評価：宮腰寛之ほか
- ・立川断層帯周辺における表層地盤のS波速度構造モデルの推定：地元孝輔ほか
- ・微動H/Vスペクトルによる立川断層帯近傍の深部地盤構造の推定：佐口浩一郎ほか
- ・立川断層帯周辺地域における深部地盤の減衰構造のモデル化：山中浩明ほか

2. ワークショップ

(1) 平成 24 年国内ワークショップ「東北地方太平洋沖地震の地震動と地盤」

- 1) 低周波数強震記録から見た 2011 年東北地方太平洋沖地震の震源過程
鈴木 亘 (防災科学技術研究所)
- 2) やや短周期の強震動から見た震源モデル
浅野 公之 (京都大学防災研究所)
- 3) 観測記録から得た関東平野の長周期地震動特性
津野 靖士 (鉄道総合研究所)
- 4) 東北地方太平洋沖地震の長周期地震動シミュレーション
川辺 秀憲 (京都大学原子炉実験所)
- 5) 距離減衰式による経験的地震動評価
大野 晋 (東北大学災害科学国際研究所)
- 6) 震度 7 を記録した K-NET 築館周辺での表層地盤の影響評価
松島 信一 (京都大学防災研究所)
- 7) 簡易指標による東北地方太平洋沖地震時の非線形地盤応答の評価
野口 科子 (電力中央研究所)
- 8) 地盤液状化被害に地震動特性が与えた影響
安田 進 (東京電機大学)
- 9) 大崎市古川の地震被害と高密度地震観測プロジェクト
盛川 仁 (東京工業大学)

(2) 平成 25 年国際シンポジウム

An overview of the 2011 Tohoku earthquake reputeure models *Hiroe Miyake*

Intepretation of the cause of high acceleration ground motions during the 2011 Tohoku earthquake *Toshimi Satoh*

Evaluation of the 2011 Tohoku earthquake ground motion by Ground Motion *Susumu Ohno*

Long period ground motion simulation of the 2011 Tohoku earthquake *Hidenori Kawabe*

Earthquake vulnerability of Istanbul and related international projects *Oguz Ozel*

Comprehensive research on the Uemachi fault system: Study on long term evaluation and strong ground motion estimation *Tomotaka Iwata*

Project PRENOLIN : A benchmark on 1-D numerical simulation for non-linear site response analysis *Julie Regnier*

Insights into the effect of local site conditions from geotechnical borehole arrays

Ralph J. Archuleta and Jamison H. Steidl

Spatial variability of ground motion over short distance *Cecile Cornou*

A theory of spectral ratios based on the diffuse field assumption

Francisco J. Sanchez-Sesma

Modeling of the subsurface structure from the seismic bedrock to the ground surface for a broadband strong motion evaluation *Shigeki Senna*

Effects of alluvial deposits on the ground motions and damage in the 2010-2011 Christchurch (New Zealand) Earthquakes *Misko Cubrinovski*

Site and basin effects study in Taiwan *Kuo-Liang Wen*